

ある日の育児日記から

(63)

佐藤 和代



と嘆いてみても始まらないので、有に聴かせよ

そんな有が唯一歌える童謡は「犬のおまわりさん」。

かわいくていいわね
なんて思っていたら大間違い。
この間、交番の前でいきなり歌い始めてしまいました。
「いっぬっのー……」 黙れ!

有は三歳。この頃、ようやく歌を歌うようになりました。主は二歳頃からチューリップやちょうちんの歌など歌っていたのに、有はどうしちゃうたの：と思っていたら、いきなり難しい歌を覚えてしまった。ウルトラマンの主題歌です。これを低めの声でうなるように歌うから、どうも子どもの歌という気がしない。かつてウイーン少年合唱団やパリ木の十字架合唱団やら聴いて喜んでい

うと子供の歌をかけてみるのですが、これがまた歌よりオーディオに興味を示してしまうのです。レーザーディスクなんてすぐ使いこなして、自分でかけています。大きなプレーヤーがウイーンなんて出てきて、いろいろな計器がちかちかして、まるでロボットを動かしているみたいなんですよ。どこまでも童謡やボーイソプラノには縁がなさそう。やれやれ。

